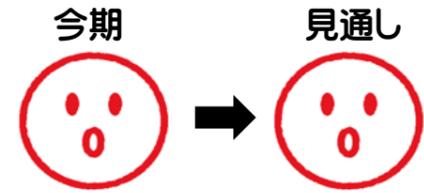


建設業 回答率:91.8% (56/61)

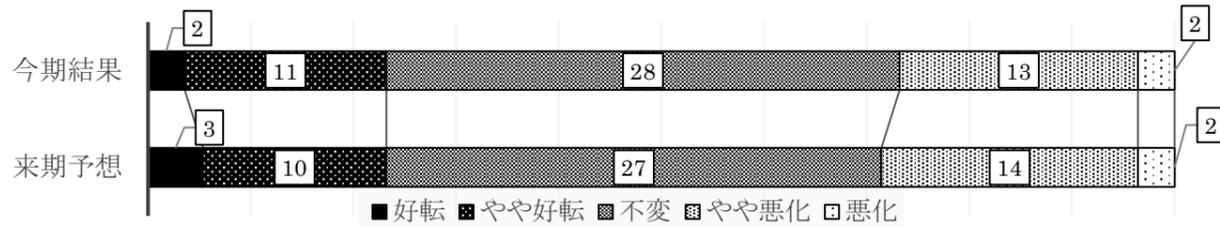


■丹波市の景況推移

平成26年度の災害復興関連工事が終了し、業界の需要は一応に停滞している状況。人材不足により、依頼があっても対応できない状況が続いているところも出てきている。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

1月は寒さが厳しく、水道管の凍結破裂といった突発的な受注が多かった。また、年度末の公共工事も多く、忙しい日々が続いた。電気工事関連では大型工場の工事が多く、設備投資が活発に行われている様子が伺えたとの回答があった。

【来期の景況予想】

年度末に向けては非常に繁忙であったが、その反動で例年4月以降は落ち着く傾向にある。公共工事も新年度発注は夏以降になるのでしばらくは厳しい状況が続くことが予想される。民間からの受注が多い業種では、日が長くなり、一日の作業時間も長くなった為、対応件数の増加が見込まれる。

■全国の景気動向

土木関係を中心に新規工事の発注も順調に伸び、業界の景況感が良い。民間の設備投資が上向いているので期待感はある。しかし、公共工事は減少しているとの回答が多く、業者間の競争や、職人の不足が負担になっている。

■県下の景気動向

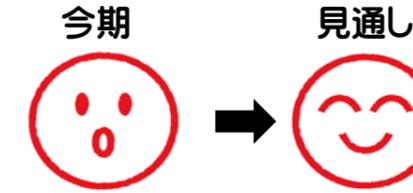
建設需要が好調で受注高が増加し、社員一人当たりの業務量が増加している。県下でも職人不足が深刻であり、特に現場での技術者不足が顕著である。また、造園業関連では、今後自治体における公園や植栽関連の計画が減少傾向にあり、好況感は無くなりつつある。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	6	1	4	1	1	14	25.0%
不変	1	6	3	5	2	3	20	35.7%
悪い (悪化+やや悪化)	2	5	4	3	6	2	22	39.3%
合計	4	17	8	12	9	6	56	100.0%

製造業 回答率:89.6% (52/58)

平成30年1月~3月期調査



■丹波市の景況推移

機械部品製造関係は比較的好調に推移している。しかし依然として人手不足は続いており、また、材料価格の高騰も続いている。売上は上がっても収益が圧迫されている状況から中々抜け出せていない。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

印刷業関連では、年度末は広報誌・記念誌等の仕事が多く多忙であった。しかし、印刷がネットで簡単に出来るようになり、業界の仕組みが変わりつつある。その他では、官公庁の仕事が主な業種などは、年度末に掛けて非常に忙しい状況が続いた。

【来期の景況予想】

年度末を過ぎると仕事量は減少し、落ち着く事業所が多い。その期間に従業員への教育訓練等のセミナーや、資格取得等の研修を積極的に受講する予定である。2020年のオリンピック需要が終了すると、県外からの競合が増えると懸念している。

■全国の景気動向

自動車部品の製造関係は忙しい状況が続いており、今後も好調は続く予想されている。また、2019年夏ごろまでは、東京オリンピック関連の需要が続くとの見方が強い。一方で、燃料費や材料価格の高騰は続いており、利益を圧迫している状態も続いている。

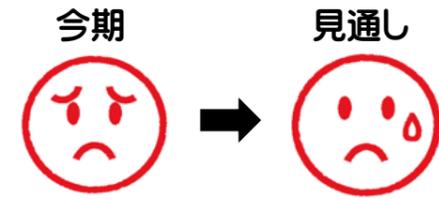
■県下の景気動向

自動車関連の製造が好調。自動車の電装化率が高まっており、車載用の電子部品が特に好調。工場をフル稼働して生産を増強している。食料品製造関係では、3月の後半から天候にも恵まれ、野菜等の価格高騰も収まりつつある。

■地区ごとの回答(前年同期比)

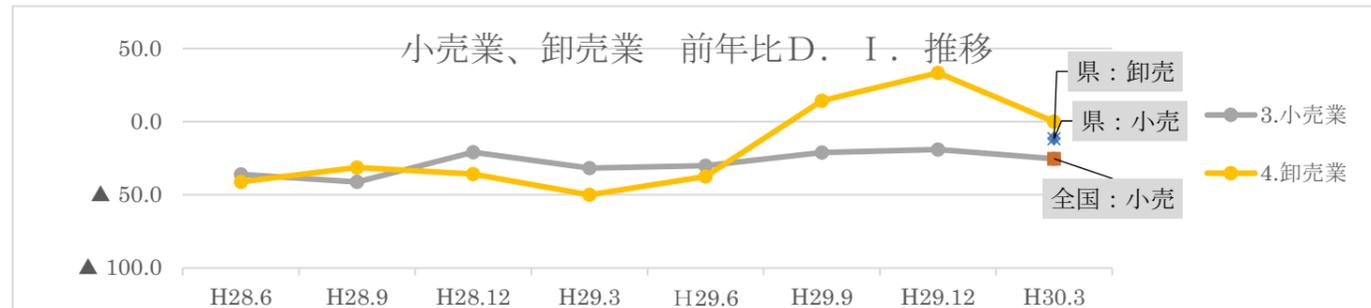
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	2	1	4	4	12	23.1%
不変	2	9	4	3	7	3	28	53.8%
悪い (悪化+やや悪化)	3	2	1	2	4	0	12	23.1%
合計	5	12	7	6	15	7	52	100.0%

小売、卸売業 回答率:89.4%(68/76)



■丹波市の景況推移

丹波市へドラッグストア等の出店が増え、周辺の商店では影響を受けてしまっている。購入方法では、ネット購入が増え、対応している事業所は売上を伸ばすことが出来ている。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

1~3月の冷え込みによる、影響は二極化し、石油販売業では灯油の売上が増加。一方、日用品関連の業種においては、お客さんの出入りが悪かったとの回答が多かった。

【来期の景況予想】

食料品小売業では、ゴールデンウィークにかけて家庭用の需要が増加するため、売り上げ増加を見込んでいる。丹波市は高齢化が進んでおり、商店に訪れる顧客の高齢化も同時に進んでいる。冬場や夏場など、極端に厳しい天候の日は客足が鈍くなる傾向が見られるようになり、小売店では今後更に悪くなることを懸念する声が多い。

■全国の景気動向

例年であれば年度末は売上が増加する季節であるが、気温が低い日が続いたため客足が鈍い印象であったとの回答が目立った。全国的にもドラッグストアの大型チェーン出店が今後も続くため、顧客の奪い合いが更に熾烈になると危惧している。

■県下の景気動向

大手スーパーなどでは、2月は冷え込みが厳しく、客足が減少したものの、全体的には前年を上回る売上となっており堅調である。オーガニックなどといった健康志向商品など付加価値のある商品の売上は伸びており、顧客が良いと思った商品は価格が少々高くても受け入れられる傾向が続いている。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	6	2	2	0	0	11	16.2%
不変	5	10	2	6	6	2	31	45.6%
悪い (悪化+やや悪化)	6	9	1	5	4	1	26	38.2%
合計	12	25	5	13	10	3	68	100.0%

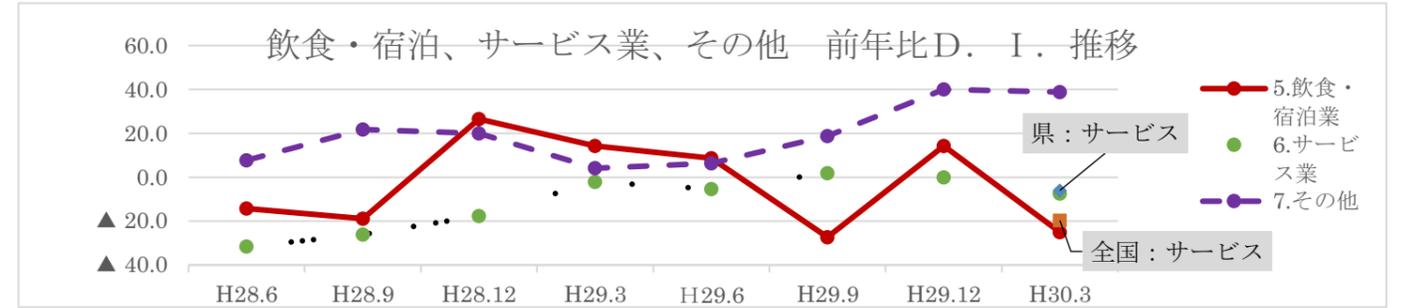
飲食・宿泊、サービス、その他業種 回答率:87.6%(92/105)

平成30年1月~3月期調査



■丹波市の景況推移

年間を通し、食料品関係の仕入れ値が高い状態が続いており、収益がなかなか上がらない状態が続いている。季節的な売上の上がり下がり大きく、閑散期の集客が課題。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

年度末は人が動く時期であり、忙しいと回答する企業が比較的多かった。来店されるお客さんは既存の方が多く、新規のお客さん獲得は難しい状況であるが、販路開拓の取り組み(小規模事業者持続化補助金など)を活用した事業所では、徐々に顧客の幅を広げている。

【来期の景況予想】

人手不足が深刻であり、特に運送関連ではシーズンになるとトラックの確保が至難の業となっている。運転手の高齢化、若手ドライバーが不足しているため引き続き厳しい状況が続くことが懸念される。その中でも、業務改善や事業計画を立て実践している企業では、改善の兆しが見えつつある。

■全国の景気動向

運送業界全体的に人手不足の影響を受けており、仕事があっても受注できず売上があがらないとの声が多い。IT関連では、2019年の元号改正や軽減税率対応システム改修、AI・IoT関連の研究開発が活発になっている状況。しかしながら、IT関連も例外ではなく、人材不足が深刻である

■県下の景気動向

飲食・宿泊関連では、国内外からの宿泊需要が増加しているが、人手不足の状況にあって従業員の休みを確保するために予約をキャンセルせざるを得ない状況となっている。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	5	9	1	4	6	1	26	28.3%
不変	8	9	5	6	6	4	38	41.3%
悪い (悪化+やや悪化)	7	8	3	2	5	3	28	30.4%
合計	20	26	9	12	17	8	92	100.0%